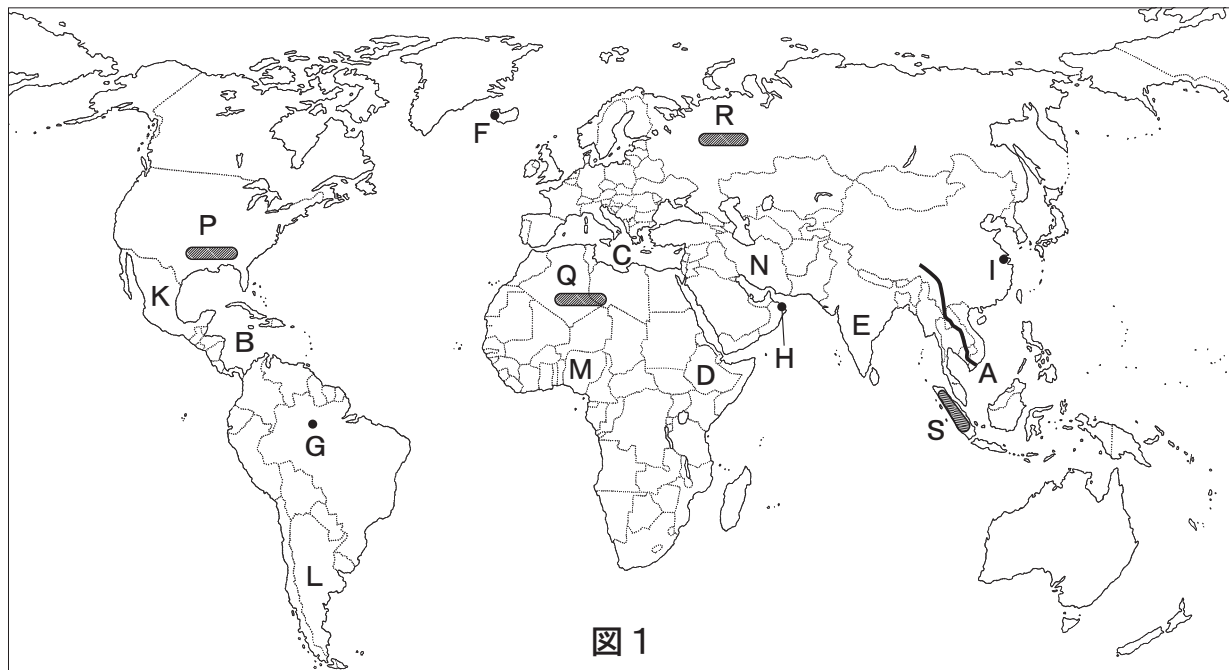


京都成章高等学校  
社

平成30年度 入学試験問題  
会

1. 世界地理に関する以下の問(1)~(6)に答えなさい。



(1) 図1中のA川の名称を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) メコン川      (イ) ガンジス川  
(ウ) ライン川      (エ) ラプラタ川

(2) 図1中のB~Eの海域または高原・高地の名称の組み合わせとして誤っているものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) B-カリブ海      (イ) C-地中海  
(ウ) D-エチオピア高原      (エ) E-ギアナ高地

(3) 次の図2は、図1中のF~Iのいずれかの都市における最も暖かい月の平均気温と最も寒い月の平均気温（縦軸）と年降水量（横軸）を示したものである。都市Iにあてはまるものを、図2中の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

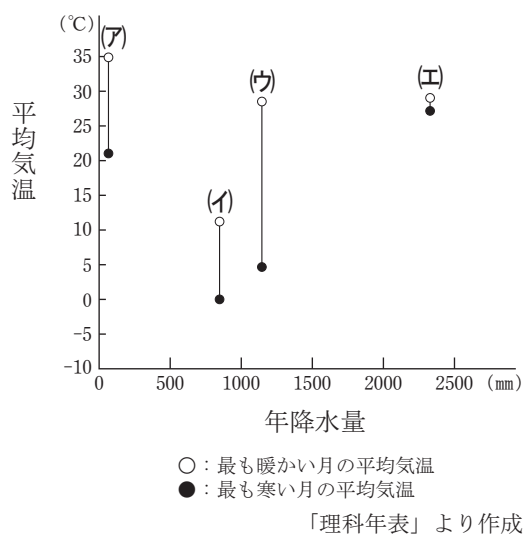


図2

(4) 次の文は、図1中に示したK~Nのいずれかの国について述べたものである。この文にあてはまる国を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

隣の国から流れてくる河川が国土のほぼ中央を流れる。北部のサヘルは降水量が少ない。かつてイギリスの植民地であったので英語が公用語になっている。この国の総人口は世界第6位の約1億8000万人（2015年）であり、北部はイスラム教徒、南部はキリスト教徒が多い。産出量の多い原油は、この国の重要な輸出品となっている。

- (ア) K      (イ) L      (ウ) M      (エ) N

(5) 次の文は、図1中のP~Sのいずれかの地域における農業について述べた文である。この文にあてはまる地域を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

森林を伐採した跡地につくられたプランテーションで油ヤシを栽培し、マーガリンやせっけんの原料となっているパーム油を生産している。

- (ア) P      (イ) Q      (ウ) R      (エ) S

(6) アジア諸国の工業について述べた文として適当でないものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) タイは東南アジアにおける自動車産業の拠点となっている。  
(イ) シンガポールでは安くて豊富な労働力を利用した衣服工業が発展している。  
(ウ) インドでは、南部の都市バンガロールを中心に情報通信技術産業が発展している。  
(エ) 中国では携帯電話やパソコンの生産台数が増加している。

2. 日本の本州と四国、九州地方に関する以下の問(1)~(9)に答えなさい。

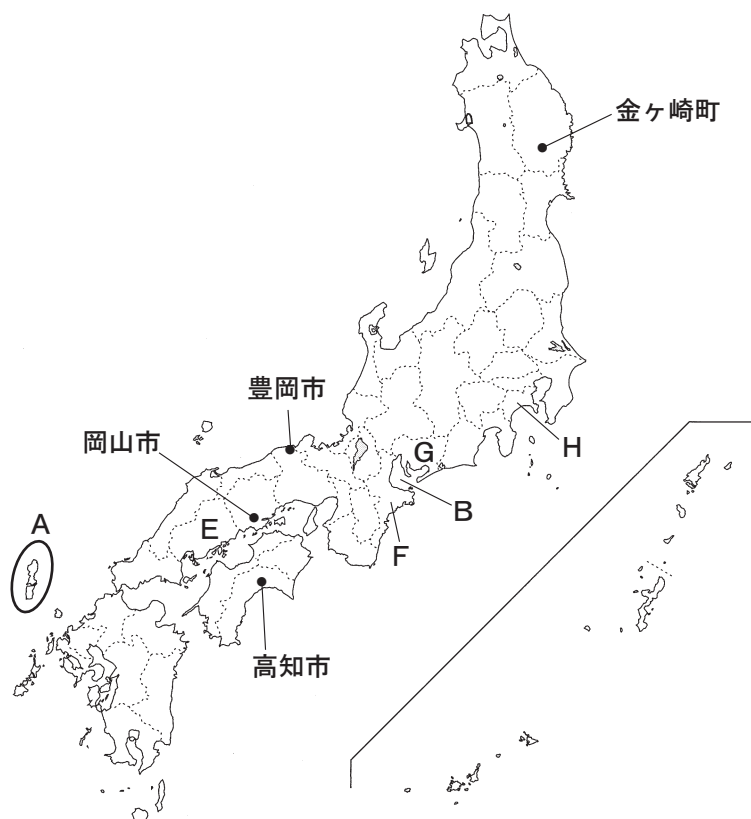


図1

(1) 図1中に示したAの島々の名称を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 隠岐諸島      (イ) 尖閣諸島
- (ウ) 対馬          (エ) 小笠原諸島

(2) 図1中に示したBの海域の名称を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 瀬戸内海      (イ) 伊勢湾
- (ウ) 有明海        (エ) 東京湾

(3) 次の表1のI~IIIは、図1中の豊岡市、岡山市、高知市のいずれかの都市の年降水量と、12月・1月・2月の3ヶ月間の降水量を示したものである。表1中のI~IIIにあてはまる都市の正しい組み合わせを、下の(ア)~(カ)から一つ選び、記号で答えなさい。

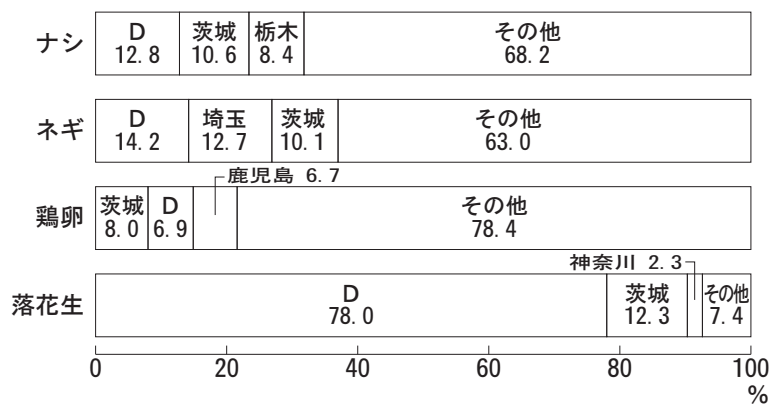
表1

	I	II	III
年降水量	2547.5	2027.1	1105.9
12~2月の年降水量	223.3	633.5	115.7

単位mm      気象庁ホームページのデータより作成

	I	II	III
(ア)	豊岡市	岡山市	高知市
(イ)	豊岡市	高知市	岡山市
(ウ)	岡山市	豊岡市	高知市
(エ)	岡山市	高知市	豊岡市
(オ)	高知市	豊岡市	岡山市
(カ)	高知市	岡山市	豊岡市

(4) 次の図2は、ナシ(日本なし)、ネギ、鶏卵、落花生のいずれかの県別生産割合を示した帯グラフである。図2中のDにあてはまる県名を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。



統計年次は2015年  
「データでみる県勢2017年版」より作成

図2

- (ア) 千葉県      (イ) 鳥取県      (ウ) 熊本県      (エ) 愛媛県

(5) 日本の発電について述べた文として適当でないものを、下の(ア)~(エ)から一つ選べ。

- (ア) 原子力発電の占める割合は東日本大震災以降、低下している。
- (イ) 東北地方や九州地方には地熱発電所が立地している。
- (ウ) 水力発電所は、海水が得られる海岸沿いに立地している。
- (エ) 太陽光発電や風力発電の占める割合が増加している。

(6) 次の文は、ある県の工業について述べたものである。この文にあてはまる県は図1中のE~Hのどれか。下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

県庁所在都市を中心に自動車メーカーの工場がある。福山市には製鉄所が立地している。かつては造船業も盛んであった。

- (ア) E      (イ) F      (ウ) G      (エ) H

(7) 図1に示した岩手県の金ヶ崎町には工業団地が整備され、多数の工場が進出している。次の図3は、1955年から2015年にかけての金ヶ崎町における第1次産業、第2次産業、第3次産業の就業者数の推移を男女別に示したものである。図3について述べた文として**適当でないもの**を、下の(ア)~(ク)から**2つ**選び、記号で答えなさい。

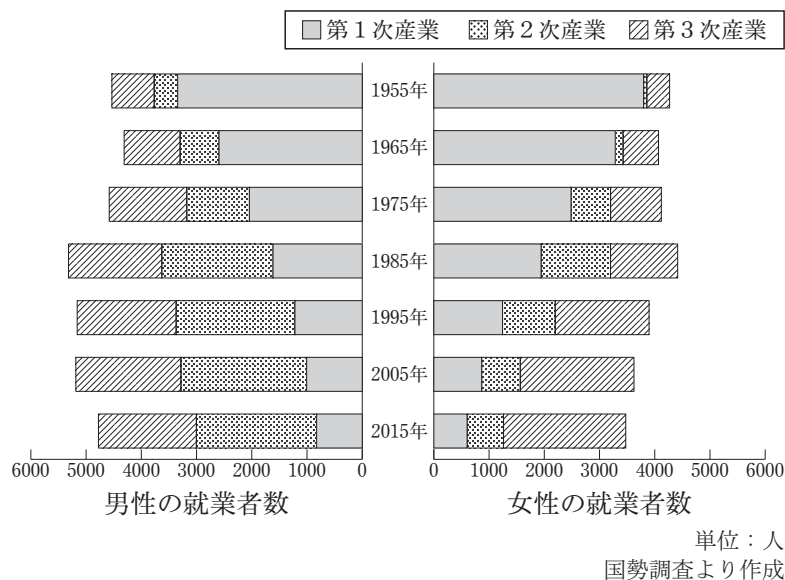


図3

- (ア) 第1次産業の就業者数は、男女とも、年々減少している。
- (イ) 第1次産業の就業者数は、すべての年で女性より男性の方が多い。
- (ウ) 第2次産業の就業者数は、すべての年で女性より男性の方が多い。
- (エ) 女性の第3次産業の就業者数は、すべての年で増加している。
- (オ) 男性の就業者数は、1975年までは第1次産業が最も多いが、1985年からは第2次産業が最も多い。
- (カ) 女性の就業者数は、1985年までは第1次産業が最も多いが、1995年からは第3次産業が最も多い。
- (キ) 男性の就業者数で増加数が最も多いのは、1975年から1985年の第2次産業である。
- (ク) 女性の就業者数で増加数が最も多いのは、1975年から1985年の第3次産業である。

(8) 次の表2は、秋田県、埼玉県、福岡県のいずれかの県の老年人口率（2015年）、1980年から2015年の人口増減数、昼夜間人口比率（夜間人口100人あたりの昼間人口、2015年）を示したものである。表2中のK~Mにあてはまる県の正しい組み合わせを、下の(ア)~(カ)から一つ選び、記号で答えなさい。

表2

	K	L	M
老年人口率	24.8%	25.9%	33.8%
1980~2015年の人口増減数	184.7万人	54.9万人	-23.4万人
昼夜間人口比率	88.5	100.0	99.8

「データでみる県勢2017年版」より作成

	K	L	M
(ア)	秋田県	埼玉県	福岡県
(イ)	秋田県	福岡県	埼玉県
(ウ)	埼玉県	秋田県	福岡県
(エ)	埼玉県	福岡県	秋田県
(オ)	福岡県	秋田県	埼玉県
(カ)	福岡県	埼玉県	秋田県

(9) 次の3つの祭りが行われている地域の名称を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

[ ねぶた祭り      竿燈まつり      花笠まつり ]

- (ア) 東北地方      (イ) 関東地方
- (ウ) 四国地方      (エ) 九州地方

## 3. 次のA～Eの各文章を読み、下の問(1)～(6)に答えなさい。

- A 老中  は株仲間をつくることを認める代わりに営業税をとり、幕府の収入を増やそうとした。さらに耕地を増やすために印旛沼の干拓も始めた。しかし、この時代はわいろが横行して政治が乱れ、全国的にききんが起り、政治が不安定となってしまった。そこで徳川吉宗の孫にあたる<sup>(a)</sup>松平定信が老中となり、さまざまな改革を行って政治をひきしめた。この改革を  の改革という。
- B 藤原氏は他の貴族たちをしりぞけながら勢力をのばしていった。娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立て、幼いときには摂政に、成人すると関白という天皇を補佐する職について、政治の実権をにぎるようになった。これを  政治という。藤原氏などの貴族たちは国司から多くのおくり物を受け取ったり、広大な荘園を持つようになっていった。藤原氏は藤原  とその子頼通のころが最も栄えた。
- C 天皇中心の政治をとりもどそうと考えた  天皇が幕府を倒し、新しい政治を始めた。しかし貴族を重視し、武士の政治を否定したため、武士たちのあいだで新しい政治への不満が高まっていった。そこで足利尊氏が武士の政治の復活を呼びかけ、兵を挙げたため天皇の新しい政治は約2年でくずれた。尊氏は新しい天皇を立て、京都に幕府をひらいたが、その後も全国的な内乱が続いた。<sup>(b)</sup>内乱は孫の義満の代になってようやく終わった。
- D 独裁的な政治を行っていた蘇我氏を中臣鎌足とともにたおした中大兄皇子は政権をにぎり、難波宮に都を移した。さらに、唐から帰国した留学生などの協力を得て、公地公民などの新しい仕組みをつくる改革を行った。この改革を  という。中大兄皇子は、唐と新羅にほろぼされた百済の復興を助けるための大軍を送ったが大敗し、唐や新羅の侵攻にそなえて山城などを築き、都を大津宮に移し、<sup>(c)</sup>天智天皇として即位した。
- E 武力によって天下統一をなしとげようとした尾張の織田信長は、対立する各地の有力な大名や寺院を破った。また、堺や京都の豪商たちから財産や自治を奪って都市を支配し、自ら琵琶湖のほとりに壮大な  を築くと、城下に楽市・楽座令を出し、自由な商工業の発展を図った。しかし、全国統一を目前にした信長は、家臣の明智光秀にそむかれて本能寺で自害し、光秀をたおした信長の家臣の<sup>(d)</sup>羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)が全国統一を完成させた。

- (1) 各文章中の空欄  ～  にあてはまる語句を答えなさい。
- (2) 下線部(a)の改革として正しいものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 公事方御定書という裁判の基準となる法令集をつくった。  
 (イ) アメリカ船に食料や水、石炭などを供給することを定めた。  
 (ウ) 旗本や御家人の借金を帳消しにした。  
 (エ) 生類憐みの令を出して、極端な動物愛護政策をすすめた。

- (3) 下線部(b)の時期の中国について述べた文として正しいものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 中国東北部の女真族が清を建国して、中国全土を支配した。  
 (イ) 明の皇帝は、大陸沿岸をおそう倭寇を禁じるよう日本に求めた。  
 (ウ) 隋が南北朝を統一して強大な帝国をつくり上げた。  
 (エ) 元は従わせた高麗とともに、二度にわたって九州北部に攻め寄せた。
- (4) 下線部(c)よりもあとの出来事として誤っているものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 壬申の乱で勝利した天武天皇は、律令や歴史書をまとめるよう命じて、強力な支配の仕組みを作り上げた。  
 (イ) 新しく開墾した土地には私有が認められ、子孫に伝えたり売ることができるとする墾田永年私財法が出された。  
 (ウ) 国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には東大寺を建て、金銅の大仏を造らせて、仏教の力で国家を守ろうとした。  
 (エ) 聖徳太子が家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を取り立てる制度を整えた。
- (5) 下線部(d)について、羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)の政策として、正しいものを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 異国船打払令  
 (イ) 刀狩  
 (ウ) 徳政令  
 (エ) 参勤交代
- (6) A～Eの各文章を古いものから順に並べるとき、3番目にくる文章を、A～Eの記号で答えなさい。

## 4. 次の文章を読み、下の問い(1)～(7)に答えなさい。

明治時代に入り、新政府は欧米諸国に対抗するため、経済を發展させて国力をつけ、軍隊を強くすることを目指した。この政策を **1** という。政府は徴兵制による軍隊をつくり、殖産興業政策を進め、産業を育てることで経済の資本主義化を図っていった。

近代国家をつくるためには、制度や機構を整備するだけでなく、主体的に動いていく人が必要であり、そのような人を育てることが、政府の大きな課題でもあった。その役割を担ったのが、『学問のすゝめ』を著した **2** に代表されるような洋学者や思想家の人々だった。また、中江兆民は、(a) フランスのルソーの思想を新聞や雑誌を通して紹介し、やがて自由民権運動につながっていった。

西洋風の新しい制度や思想とともに、日常生活の中にも欧米の風俗や文物が取り入れられていった。このような風潮を文明開化という。開港した横浜や神戸の外国人居留地では、れんが造りの洋館が建設され、欧米風の街なみが出現した。そこでは、ランプやガス灯がともされ、馬車や人力車が走り、洋服姿の男女が見られた。1日を24時間、1週間を七日とする **3** 暦も使用されるようになった。

政府は、経済發展の基礎となる交通・通信の整備を進めた。新橋・横浜間に鉄道が開通し、主要な港と大都市を結ぶ鉄道が開通していった。沿岸では蒸気船の運行も始まった。通信では、飛脚にかわって近代的な郵便制度が導入され電信網も整えられた。また輸出の中心であった生糸の増産や品質の向上を図るため、官営模範工場が造られ、外国の優れた新しい技術を各地に広めた。

日本の (b) 産業革命は、日清戦争前後に紡績・製糸など軽工業の分野で、そして (c) 日露戦争前後に鉄鋼など重工業の分野で進行した。とくに重化学工業では、日清戦争後に建設された官営の **4** 製鉄所が發展の基礎となった。いっぽうで、田中正造が問題解決に取り組んだことでも知られる **5** 銅山の鉱毒事件などの公害問題も発生するようになった。

産業の發展に対して、日本の文化的な課題としては、欧米の文化を吸収しながら、いかに新しい文化を創り出していくかというところにあった。美術の分野ではアメリカ人の **6** が岡倉天心とともに日本美術の復興に努め、伝統の価値が見直されるようになり、日本近代美術の基礎がつくられたのもこの時期であった。

都市では (d) 第一次世界大戦の際の大戦景気を背景に人口が急増し、東京や大阪は大都市に成長した。電気・水道・ガスが普及し、生活の洋風化がさらに進んだため、洋食・洋服の着用も広がった。(e) 大正時代は資本主義の發達にともない、文化や娯楽、芸術さえ、商品として大量生産される時代となった。しかし、関東大震災による打撃もあって不景気が始まり、その後の混乱などから金融恐慌、さらには (f) 世界恐慌の影響が日本におよび、昭和恐慌とよばれる深刻な不況が発生した。

- (1) 各文章中の空欄 **1** ～ **6** にあてはまる語句を答えなさい。
- (2) 下線部(a)について、ルソーが活躍した18世紀の出来事を述べた文として誤っているものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) ドイツでは首相のビスマルクが小国に分かれていた国家を統一し、ドイツ帝国を成立させた。
- (イ) フランス国王が貴族たちへ課税するために議会を招集したことをきっかけにフランス革命が始まった。
- (ウ) ロシアの使節ラクスマンが漂流民を送り届けるため、蝦夷地の根室に来航した。
- (エ) 北アメリカのイギリス植民地がフランスなどの支援を受けて独立戦争に勝利した。
- (3) 下線部(b)を最も早く実現した国名を、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) ロシア (イ) アメリカ
- (ウ) ドイツ (エ) イギリス
- (4) 下線部(c)について述べた文として正しいものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 義和団と結んだロシアに対して日本は戦いをいどみ、北京では激しい戦いが続いた。
- (イ) ドイツ・フランスとともに三国干渉を行った日本に対して不満を持ったロシア国内では開戦論が高まった。
- (ウ) アメリカの仲介によって講和会議が開かれ、ポーツマス条約が結ばれた。
- (エ) 講和条約では、朝鮮の独立を認め、多額の賠償金を日本が受け取るようになった。
- (5) 下線部(d)について述べた文として誤っているものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) この戦争中にロシア革命が始まり、戦後にソビエト社会主義共和国連邦が成立した。
- (イ) パリ講和会議が行われ、アメリカ大統領ウィルソンの提案で平和を守るための国際連合の設立が決定された。
- (ウ) ロシア・イギリス・フランスなどの連合軍と、オーストリア・ドイツを中心とする同盟国の間で戦いが続いた。
- (エ) 新兵器の飛行機や戦車が登場し、戦争は長引き、各国が国民・経済・資源を総動員する総力戦となった。
- (6) 下線部(e)の時代に広まった民主主義を求める動きや風潮について述べた文として正しいものを、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 憲法学者の美濃部達吉は民本主義をとнаえて、政党内閣を支持した。
- (イ) 25歳以上の男子すべてに選挙権をあたえる普通選挙法が成立した。
- (ウ) 共産党など政党の活動を守るために治安維持法が制定された。
- (エ) 政治学者の吉野作造は天皇機関説を主張し、参政権の拡大をとнаえた。
- (7) 下線部(f)への対策として、ニューディール政策を実行したアメリカの大統領を、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) ルーズベルト (イ) リンカーン
- (ウ) ワシントン (エ) ケネディ

5. 次の文章を読み、下の問(1)~(7)に答えなさい。

民主主義を確かなものにするためには、私たち一人一人の積極的な政治参加が欠かせない。なかでも重要なのが、(a)選挙である。日本では国会議員のほか、都道府県や市(区)町村の長と議員を選挙で選ぶ。日本の選挙の方法については、に定められている。

首長や議員の中でも特に国会議員は、政治について同じ考えを持つ人々を作る団体である。(b)政党に所属し、政党を中心に行動することが多い。そのため、選挙で投票するときには、候補者本人だけでなく、その所属する政党の主張である公約や具体的な数値目標などを示した (政権公約) も考える必要がある。

また、日本の政治運営については、権力分立という考え方にもとづいて行われている。権力分立のしくみには、主に、地方分権と三権分立がある。地方分権とは、権力を国だけに集中させないで、(c)地方公共団体にも分割するしくみである。そして、三権分立は、国の権力を、法を定める力(立法権)、法を執行する力(行政権)、法に基づいて裁判する力(司法権)の三権に分割するしくみである。国の三権はそれぞれ、(d)国会、(e)内閣、(f)裁判所によって担当される。

(1) 文章中の空欄・にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 下線部(a)に関して、比例代表制の選挙において、A党は6,000票、B党は3,000票、C党は1,500票の得票があった。議席数が10議席である場合、ドント式による議席配分法でB党が獲得する議席数を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 4議席 (イ) 3議席 (ウ) 2議席 (エ) 1議席

(3) 下線部(b)に関して、下記の1955年から2014年にかけての衆議院議員選挙での与野党の移り変わりの図をみて、図中の~にあてはまる語句の正しい組み合わせを、下の(ア)~(カ)から一つ選び、記号で答えなさい。

年	与 党	野 党
1955	<input type="text" value="X"/>	日本社会党、自由党、日本共産党、その他
1993	日本新党をはじめとする8政党	<input type="text" value="X"/> 、日本共産党、その他
2009	<input type="text" value="Y"/> 、社会民主党、国民新党、その他	<input type="text" value="X"/> 、 <input type="text" value="Z"/> 、日本共産党、みんなの党、その他
2014	<input type="text" value="X"/> 、 <input type="text" value="Z"/>	<input type="text" value="Y"/> 、維新の党、日本共産党、その他

- (ア) X-民主党      Y-公明党      Z-自由民主党  
 (イ) X-民主党      Y-自由民主党      Z-公明党  
 (ウ) X-公明党      Y-民主党      Z-自由民主党  
 (エ) X-公明党      Y-自由民主党      Z-民主党  
 (オ) X-自由民主党      Y-民主党      Z-公明党  
 (カ) X-自由民主党      Y-公明党      Z-民主党

(4) 下線部(c)に関して、地方公共団体の仕事として誤っているものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 国民健康保険の運営      (イ) 介護保険の運営  
 (ウ) 住民票、戸籍の書類発行      (エ) 年金の管理運営

(5) 下線部(d)に関して、国会において、衆議院の優越が認められていない事項を、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 憲法改正の発議      (イ) 法律案の議決  
 (ウ) 条約の承認      (エ) 内閣不信任の決議

(6) 下線部(e)に関して、次の(i)・(ii)に答えなさい。

(i) 内閣に関する説明として誤っているものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 内閣総理大臣は、衆議院議員の中から国会の決議で指名される。  
 (イ) 内閣総理大臣その他の国務大臣は、文民でなければならない。  
 (ウ) 内閣総理大臣は、任意に国務大臣を罷免することができる。  
 (エ) 内閣総理大臣が欠けたとき、内閣は、総辞職をしなければならない。

(ii) 内閣の仕事として正しいものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

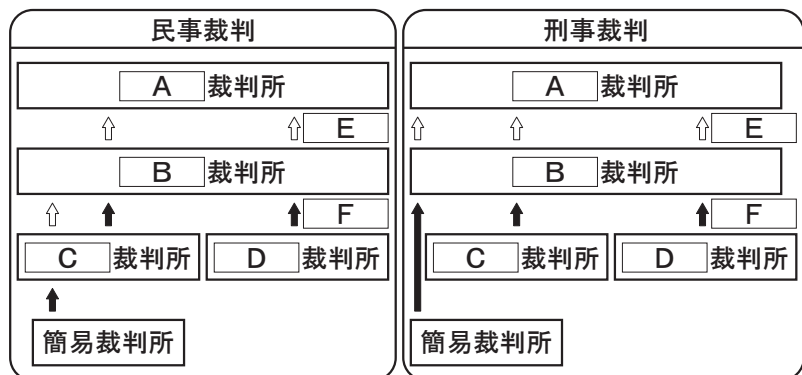
- (ア) 国政調査      (イ) 最高裁判所長官の指名  
 (ウ) 予算の議決      (エ) 弾劾裁判所の設置

(7) 下線部(f)に関して、次の(i)・(ii)に答えなさい。

(i) 裁判官をやめさせることができる方法を、下の(ア)～(イ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 違憲審査      (イ) 行政裁判
- (ウ) 国民投票      (エ) 国民審査

(ii) 裁判のしくみを示した下の図中の **A** ～ **F** にあてはまる語句の正しい組み合わせを、下の(ア)～(ク)から一つ選び、記号で答えなさい。



	A	B	C	D	E	F
(ア)	高等	最高	地方	家庭	上告	控訴
(イ)	高等	最高	地方	家庭	控訴	上告
(ウ)	高等	最高	家庭	地方	上告	控訴
(エ)	高等	最高	家庭	地方	控訴	上告
(オ)	最高	高等	地方	家庭	上告	控訴
(カ)	最高	高等	地方	家庭	控訴	上告
(キ)	最高	高等	家庭	地方	上告	控訴
(ク)	最高	高等	家庭	地方	控訴	上告

6. 次の文章を読み、下の問(1)～(6)に答えなさい。

政府の第一の役割は、社会を支える基本的なしくみを整えることである。道路や上下水道などの社会資本の建設や、警察、消防、教育などの **1** サービスの提供は、政府が行っている。また、商法や独占禁止法などによって経済活動のルールを定め、消費者基本法や **(a)** 環境基本法などによって安全で安心な暮らしを実現することも、政府の仕事である。

政府の第二の役割は、富める人とまずしい人との差があまり大きくなならないような、公正な社会を実現することである。そのために政府は、 **(b)** 税金のかけ方をくふうし、弱い立場の人の生活を守るための **(c)** 社会保障サービスを提供している。

第三の役割は、景気の大きな変動を防止することである。経済の安定化のために、政府は **(d)** 財政政策を、日本銀行は **2** を行う。

このように、政府が行う経済活動のことを **(e)** 財政とよび、財政の収入（歳入）は、原則的に国民が義務として納める税金で支えられ、税金で不十分な場合は、法律に基づいて発行される国債で補われている。

(1) 文章中の空欄 **1** ・ **2** にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 下線部(a)に関して、日本にかかわる環境問題関連年表中の空欄 **A** ～ **D** のうち **A** にあてはまる出来事を、下の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

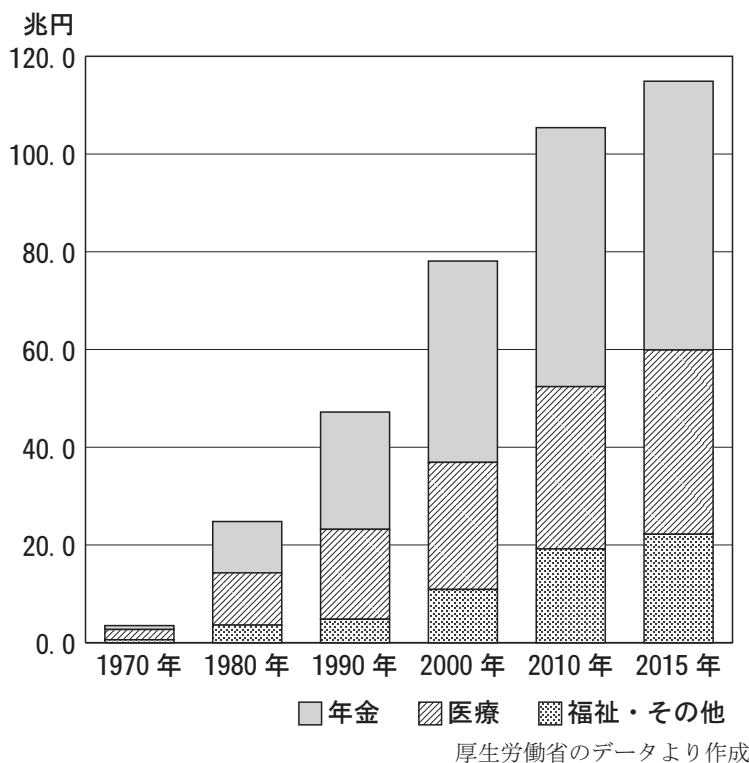
年	出来事
1967	<b>A</b>
1971	環境庁 発足
1972	国連人間環境会議
1973	石油危機
1992	<b>B</b>
1993	環境基本法 成立
1997	<b>C</b>
2000	<b>D</b>
2001	環境省 発足

- (ア) 地球サミット
- (イ) 循環型社会形成推進基本法 成立
- (ウ) 地球温暖化防止京都会議
- (エ) 公害対策基本法 成立

(3) 下線部(b)に関して、累進課税として正しい組み合わせを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 所得税と消費税
- (イ) 贈与税と固定資産税
- (ウ) 相続税と贈与税
- (エ) 法人税と自動車税

(4) 下線部(c)について、下図は社会保障給付費の推移を示したグラフである。正しく読み取ったものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。



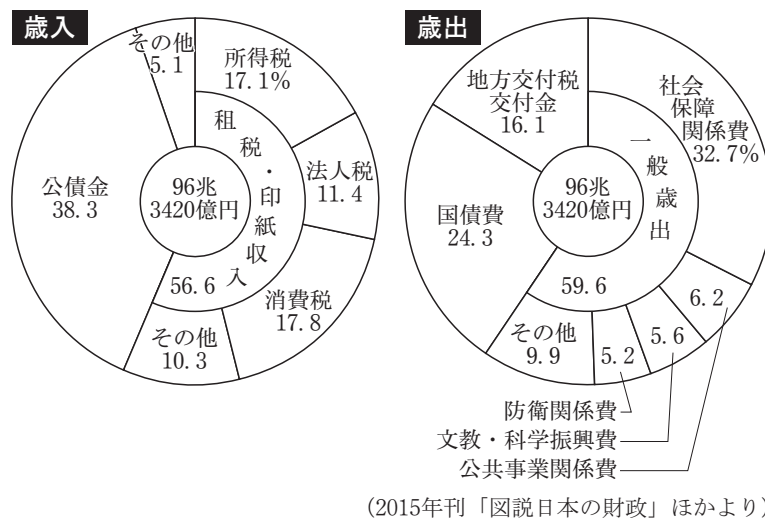
- (ア) 1990年には、医療より年金の給付費の割合の方が多くなっている。
- (イ) 2015年の給付費総額は、1970年の給付費総額の約10倍である。
- (ウ) 2015年の福祉・その他の給付費は、2010年の3倍以上である。
- (エ) 2000年の社会保障給付費のなかでは、医療の給付費の割合が一番大きい。

(5) 下線部(d)に関して、下図は、政府の一般的な財政政策を示している。図中の空欄 A ~ D にあてはまる語句の正しい組み合わせを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

	インフレ<景気過熱>	不景気
公共事業	公共事業を <b>A</b>	公共事業を <b>B</b>
税金	<b>C</b> する	<b>D</b> する

- (ア) A-減らす B-増やす C-増税 D-減税
- (イ) A-増やす B-減らす C-増税 D-減税
- (ウ) A-減らす B-増やす C-減税 D-増税
- (エ) A-増やす B-減らす C-減税 D-増税

(6) 下線部(e)に関して、下図は2015年度の国の歳入と歳出を示したグラフである。このグラフをみて、次の(i)・(ii)に答えなさい。



- (i) 国の歳入のグラフを正しく読み取ったものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
  - (ア) 国の借金である公債金による歳入の割合は、全体の5分の1以下におさえられている。
  - (イ) 租税・印紙収入のなかで、法人税の歳入の割合は、消費税の歳入の割合より大きい。
  - (ウ) 歳入の中で、直接税にあてはまるものは、所得税のみである。
  - (エ) 租税・印紙収入による歳入額は、約54兆5000億円で、全体の半分以上にあたる。
- (ii) 国の歳出のグラフを正しく読み取ったものを、下の(ア)~(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。
  - (ア) 社会資本を整備するための支出の割合は、一般歳出のなかで最も割合が大きい。
  - (イ) 96兆3420億円の歳出全体のなかで、国債費に使用された割合は、約2兆5000億円である。
  - (ウ) 年金、医療、介護等への支出の割合は、歳出全体のなかで最も割合が大きい。
  - (エ) 教育や科学技術の発展のための支出の割合より、国の防衛のための支出の割合の方が大きい。